

ブレインバンクに検体を寄付された方のご家族の皆様へ (研究に関する情報)

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究においては、より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

下記の研究では、ブレインバンクの検体の提供を受けて研究を実施していますが、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、研究内容の情報を公開することが必要とされており、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] ヒト死後固定脳および凍結脳のオートラジオグラフィーならびに組織化学的・生化学的手法を用いた、神経変性型認知症の分子メカニズムを明らかにするための分子マーカーの開発と評価
(実施期間：西暦2014年10月3日～西暦2021年3月31日)

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所

[研究責任者] 佐原 成彦

[研究の目的] ヒトの死後脳の特定期域についてオートラジオグラフィーや免疫組織化学的・生化学的方法により解析し、アルツハイマー病をはじめとする神経変性型認知症の発症過程におけるアミロイドおよびタウ蓄積ならびに他の分子メカニズムを明らかにする分子マーカーの開発と評価を行う。

[研究の方法]

1. 死後脳を用いた検討

●対象となる脳サンプルの提供元機関名

東京都健康長寿医療研究センター・高齢者ブレインバンク^{注1)}
医療法人さわらび会福祉村病院・脳バンク
新潟大学脳研究所・脳バンク
下総精神医療センター・脳バンク

●利用する研究情報・利用方法：年齢、性別、臨床検査所見(MRI画像、PET画像、心理検査結果)

2. 脳バンク内のデータベースを用いた検討

●対象となる脳サンプルの提供元機関名：東京都健康長寿医療研究センター

●対象：健常者^{注2)}、神経変性疾患患

●利用する研究情報：年齢、性別、診断名、病理組織化学検査の結果、生活歴、病歴、臨床検査の結果、服薬歴、家族歴(この解析結果は、個人情報と切り離した状態で、研究課題「脳内タウイメージング用放射性薬剤[¹¹C]PBB3 を用いた老年期精神症状の病態に関する研究」(研究計画書番号：14-014)の論文執筆においても利用します。)

注1) 東京都健康長寿医療研究センターが実施中の別の研究課題(研究課題：神経変性疾患診断のためのPETプローブ開発)から本課題への試料提供を受けます。

注2) 本研究では、特定の精神神経疾患に対する臨床診断名が付与されておらず、かつ特定の神経疾患に対する病理組織診断も下されていないケースを「健常者」と定義しています。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、その他の個人を直接識別できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報がありません。(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)

[その他]

承認日：第6版 2020年2月20日

研究責任者はタウ蓄積を画像化する化合物の特許を有しており、当該化合物による神経変性型認知症の診断法、治療法の開発を目指して研究を進めています。

この研究には亡くなった方の試料・情報を使ってほしくないご遺族もしくは代理人の方は、下記連絡先にお申し出ください。ただし、2020年3月15日以降にデータが解析でまとめられてしまった後には情報を取り除けない場合があります。この場合にも、第三者から個人が特定されるような形で発表することはありません。

また、この研究への協力をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。

[放医研における問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市穴川4-9-1

国立研究開発法人・量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所

電話；03-3964-3241 平日：9:00～17:00